

史跡齋宮跡保存活用計画（案） 概要版

◆計画策定の目的（第1章）

広大な史跡である齋宮跡には約500戸の住宅があり、指定当時から住民生活と文化財保護の両立が課題となってきました。現在はそれを両立させ、史跡の確実な保存を行いながら、住民のみならず、地区内外の人々が齋宮跡の魅力を感じ、愛着を持って多様な活用事業を協働して実施していくことが求められています。本計画は、そのための指針となることを目的としています。

◆計画期間（第1章）

令和7年度（2025）～令和16年度（2034）

◆史跡齋宮跡の本質的価値（第3章）

- ・ 地方にありながら国の政治の動きがわかる史跡
- ・ 伊勢神宮と古代国家との関係性がわかる史跡
- ・ 東海地方の技術の発展がわかる史跡
- ・ 皇族女性齋王が暮らしたみやこと官衙が、良好な状態で保存されている

◆史跡齋宮跡の副次的価値（第3章）

- ・ 齋宮形成以前の営み
- ・ 方格街区の区画を利用した土地利用の変遷
- ・ 今に伝わる齋王の伝承

◆概要

所在地：三重県多気郡明和町

面積：137.1ha

◆計画の大綱（目指すべき将来像）（第4章）

- ・ 齋宮跡の価値を次世代に引き継ぐことができる
- ・ 齋宮を巡る歴史を守りながら住み続けることができる
- ・ 齋宮の歴史や価値に触れ、楽しむことができる
- ・ 行政、地域、民間が協力して発展する齋宮

◆計画での主な事業など（第5～第8章）

- ・ 土地利用区分の一部改定
- ・ 整備基本計画の検討
- ・ 従来の発掘調査、土地公有化を推進
- ・ 施設、公園での官民連携
- ・ 公有地活用のための農業体験のルール作り
- ・ 来訪者の受入拠点と史跡活用専用駐車場の明確化
- ・ 伊勢神宮など伊勢志摩地域との広域連携



古代米作り体験



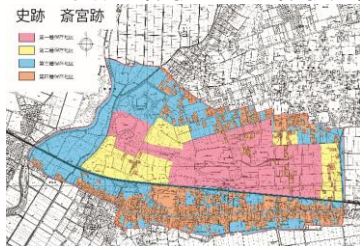
体験発掘



博物館展示



貝覆い体験



史跡齋宮跡保存地区



発掘調査（寮庁正殿）



齋宮顕彰碑（御館）



復元建物と齋王まつり